



Vol.240

令和2年2月18日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

令和元年第1回議会報告会を開催しました

11月20日(水)に土浦市議会第二委員会室において、令和元年第1回土浦市議会報告会を開催しました。24名の市民の皆さまに参加していただき、事業報告を行ったほか、市民の皆さまとの意見交換を行い、様々な意見が寄せられました。報告内容については次のとおりです。(皆さまからの意見・提言の内容等については8頁に掲載)

議会からの報告

【総務市民委員会】

(報告者) 今野 貴子 議員
(報告内容) 岩手県3市での行政視察報告
ごみの有料化について
東日本大震災における後方支援活動について
市議会の災害時対応マニュアルについて

【文教厚生委員会】

(報告者) 塚原 圭一 議員
(報告内容) 1 北九州市行政視察報告
子育てふれあい交流プラザにおける取り組みについて
2 寄付講座による地域医療体制の拡充について

【産業建設委員会】

(報告者) 勝田 達也 議員
(報告内容) 1 農作物有害鳥獣被害対策事業
2 公共下水道雨水排水路整備事業
(神立菅谷雨水幹線整備事業)について



議会報告会開催の様子



議会報告会開催の様子



【勝田議員】
産業建設委員会



【塚原議員】
文教厚生委員会



【今野議員】
総務市民委員会

会派代表質問を行いました

土浦市議会では、第1回定例会(3月)と市長が当選した直近の定例会で「会派代表質問」を行っています。今回の会派代表質問は、市長の市政方針等に対し、会派を代表した議員が質問を行うもので、質問ができる会派は所属議員が2人以上の会派(4会派)で、質問者は各会派1人とし、定例会2日目に行われました。



政新会 寺内 充



郁政クラブ 内田 卓男



日本共産党土浦市議団
田子 優奈



公明党土浦市議団
吉田 千鶴子

目次

- 令和元年第1回議会報告会を開催しました..... 1
- 会派代表質問を行いました..... 1
- 令和元年第4回定例会の結果..... 2
- 会派代表質問(4名)..... 3
- 一般質問(9名)
- 矢口勝雄・目黒英一・奥谷 崇・柏村忠志・久松 猛..... 4
- 勝田達也・福田一夫・島岡宏明・今野貴子..... 5
- 《特集》令和2年 会派の主張
「私たちはこの方針で活動します」..... 6、7
- 令和元年第1回議会報告会 意見交換の内容..... 8
- 第1回定例会(3月)の日程..... 8
- 編集後記..... 8

<インターネットで市議会の様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

<議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

○土浦市立図書館 ○各中学校区の地区公民館
○支所・出張所(都和・南・上大津・新治・神立)
※最新となる会議録(令和元年第4回)は、2月下旬に閲覧可能となります。



第4回土浦市議会定例会が 開催されました

<第4回> 定例会で 決まったこと

条例に関する議案
等27件を原案可決

土浦市副市長の選
任について同意し
ました

東郷 和男氏

土浦市教育委員会
委員の任命につ
いて同意しました

長沼 早苗氏

土浦市公平委員会
委員の選任につ
いて同意しました

高田 知己氏

一般質問には9人
が登壇

16日、18日の3日間に
一般質問が行われ、9人
の議員が市執行部に対
し、市政一般について質
問しました。

(一般質問の内容につ
いては、4頁から掲載)



議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	元.12.10	元.12.10	原案可決
報告第35号	専決処分の承認について (令和元年度土浦市一般会計補正予算(第5回))	元.12.10	元.12.10	承認
報告第36号	専決処分の承認について (令和元年度土浦市一般会計補正予算(第6回))	元.12.10	元.12.10	承認
報告第37号	専決処分の承認について(令和元年度土浦市農業集落排水 事業特別会計補正予算(第1回))	元.12.10	元.12.10	承認
報告第38号	専決処分の報告について(和解について)	元.12.10	元.12.10	報告
報告第39号	専決処分の報告について(和解について)	元.12.10	元.12.10	報告
報告第40号	専決処分の報告について(和解について)	元.12.10	元.12.10	報告
報告第41号	専決処分の報告について(和解について)	元.12.10	元.12.10	報告
報告第42号	専決処分の報告について(和解について)	元.12.10	元.12.10	報告
議案第101号	土浦市職員の給与に関する条例等の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第102号	土浦市手数料条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第103号	土浦市印鑑条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第104号	土浦市自転車駐車場条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第105号	土浦市保育所条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第106号	土浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定め る条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第107号	土浦市老人デイサービスセンター条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第108号	土浦市下水道条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第109号	土浦市水道事業給水条例の一部改正について	元.12.10	元.12.24	原案可決

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第110号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行 に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第111号	土浦市森林環境譲与税基金条例の制定について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第112号	土浦市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第113号	令和元年度土浦市一般会計補正予算(第7回)	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第114号	令和元年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第115号	令和元年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第116号	令和元年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第4回)	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第117号	令和元年度土浦市下水道事業特別会計補正予算(第3回)	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第118号	令和元年度土浦市水道事業会計補正予算(第1回)	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第119号	財産の取得の変更について (仮称)土浦市立学校給食センター厨房機器物品購入)	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第120号	土浦市老人福祉センター「つわぶき」の指定管理者の指定 について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第121号	市道の路線の認定について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第122号	訴えの提起について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第123号	町の区域の変更について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第124号	新治地方広域事務組合からの脱退について	元.12.10	元.12.24	原案可決
議案第125号	土浦市副市長の選任の同意について	元.12.24	元.12.24	原案同意
議案第126号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	元.12.24	元.12.24	原案同意
議案第127号	土浦市公平委員会委員の選任の同意について	元.12.24	元.12.24	原案同意
	閉会中の事務調査について	元.12.24	元.12.24	原案可決

第4回定例会初日での 安藤新土浦市長所信表明演説

開会に当たりまして、私の市政運営に対する所
信の一端を申し上げ、議員並びに市民の皆様の中
理解と御協力を賜りたいと存じます。
多くの市民の皆様への御支援を賜り、歴史と伝統
のある土浦市の第24代市長として今後4年間、市
政運営を担わせていただくことになりました。そ
の職責の重さ、また、市民の方々の期待の大きさ
を考えますと、まさに身の引き締まる思いでござ
います。初心を忘れることなく、これまでの議
員としての経験を生かし、「夢のある、元気のあ
る土浦」の実現へ向け、全力投球してまいります
です。

今日、我が国においては、世界に類を見ない急
激なスピードで進行する人口減少・少子高齢化や
ICT社会の進展、経済のグローバル化や地球規
模での環境問題の顕在化など、社会の大きな転換
期を迎えているところであります。

土浦市におきましては、県南地域の政治・経
済・文化の中心地として発展してまいりました
が、現在は、全国の地方都市と同様、財政再建や
インフラの整備、地域商業の活性化、子育て支援、
高齢化する社会の安全性の確保、農業の振興、企
業誘致等々、多くの課題に直面しています。愛す
る土浦を、子ども達、孫達が私達と同じように誇
れるように：今こそ、土浦市は、地域の特性や実
情を踏まえたまちづくりを行いつつ、より一層
独自性を発揮し、「夢のある元気な土浦」にして
いかなければならないと考えております。また、
歴史と文化のまち土浦には、祭り、霞ヶ浦を含む
水郷筑波国定公園、れんこん、花など、誇れる宝
がたくさんあります。私たちはこれらを次の世代
に引き継がなくてはなりません。そして、これか
ら生まれてくる子ども達に、安心して人生のスタ
ートをきり、このまちに生まれてよかったと思
える土浦にしなければなりません。

このような思いを実現するため、私は、次の7
つの基本的な政策に全力を尽くしてまいります。
1つ目は、「市民の安心安全に全力」です。近
年の激甚化する自然災害等に対応するために必要
不可欠なインフラ整備を図り、市民の命と暮ら
し、そして財産を守り抜きます。人と人とのつな
がり(絆)を大切に、地域の力の強化と行政サ
ポートにより、防災・減災や防犯に全力を尽くし
ます。

2つ目は、「土浦ブランドセールスに全力」です。
土浦には日本一の生産量を誇るれんこん等の農産
物を始め、数多くの地域資源があります。そうし
た地域資源を一つひとつ発掘し、磨き、育み、普
及していくことで、土浦ブランドの強化を図り、私

がセールスの先頭に立つことで、地域産業の振興
とまちの活性化、雇用の創出に全力を尽くします。
3つ目は、「医療・介護・福祉の充実」に全力
です。私の介護等の現場経験を存分に活かして、ご
本人、そして支える方々が安心して不安なく暮ら
せる社会の実現と、未病改善で、特に高齢者の方
がいつまでも元気で楽しく暮らせるよう、医療・
介護・福祉の充実に全力を尽くします。

4つ目は、「市民のくらし満足度ナンバーワン
実現に全力」です。スマートフォンやタブレットや
常磐線とTXの接続など、更なる交通利便性の向
上を目指すとともに、市全体の公共交通ネットワーク
ワークについても研究を進め、すべての弱い立場
にある方々に寄り添い、あたたかさあふれる土浦
市政の実現に向け全力を尽くします。

5つ目は、「子育て支援と女性の活躍の場づく
りに全力」です。仕事と子育ての両立を目指し、
子育て支援や家庭教育を推進するための制度な
ど、子育て環境の整備について検討してまいりま
す。同時に、女性の働く環境の一層の整備と、女
性目線による事業の奨励、充実など、女性が活躍
できる市政づくりに全力を尽くします。

6つ目は、「市財政の健全化に全力」です。少
子高齢化の進展による扶助費の増加や大型事業の
実施に伴う公債費の増加により、現在、土浦市は、
厳しい財政状況にあります。ムダを省いた筋肉質
な市財政の実現と、企業誘致、土浦ブランドの強
力なセールスを始めとして、様々な取組による財
源確保で、市の財政健全化に全力を尽くします。

最後に「歴史・文化・伝統・祭りの発信に全力」
です。土浦には大きな夏祭りを始め、魅力あるイ
ベントが数多くあります。そうした土浦の歴史・
文化・伝統・祭り等を子どもたち、孫たちの世代
へ引き継いでいくことはもちろん、多くの方に「そ
うだ、土浦に行ってみよう」と思ってもらえる
ような情報発信を強力に進めることで、賑わいの
ある土浦づくりに全力を尽くします。

以上、申し上げました7つの基本的な政策をも
とに、今後、具体的な施策展開に向けて取り組ん
でまいります。

私は、女性も男性も、高齢者も若者も、障がい
のある方々も、市民の誰もが個性と多様性を互い
に尊重し、それぞれの夢や希望がかない、誰もが
生きがいを感じる事ができるまち、生まれ育つた
この土浦市を誇りに思うまちづくりに取り組ん
でまいります。

今後4年間、土浦市一丸、ワン・チームで、「す
べての市民の皆様に寄り添った、市民くらし満足
度ナンバーワン」の、あたたかさあふれる土浦市
政の実現に向け、全身全霊で取り組んでまい
る所存でございますので、議員並びに市民の皆様
の御理解とご支援を心よりお願い申し上げます。
とさせていただきます。

会派代表質問

答弁：安藤市長

郁政クラブ 内田 卓男

(質問内容)

- 1 土浦の夢とロマンを学ぼう。
- (1) 刀剣のまち土浦
- (2) 東城寺小野地区の山麓に大自然公園を：(ジオパーク)
- (3) つくばエクスプレスを土浦駅へ
- (4) 県道土浦大曾根線に、スマートICを設置
- (5) 亀城モールと公園ビルについて(郁政クラブへの答弁)

1 (1) 本市では土浦藩主、土屋家の刀剣を現在、市立博物館では合計85振りを所蔵しており、土浦が日本はもとより世界に誇れる文化遺産と考え、国宝を末永く守り、次の世代に残していくことは、土浦に課せられた重要な責務であり、同時に、地域資源として有効に活用し、市の活性化やにぎわいづくりに貢献するよう努めてまいります。

(2) この地域一帯は水郷筑波国定公園に指定され、筑

波山麓の優れた自然の景観を残し、守られてきた地域であることから、今後も小町の館を拠点に、市民や観光客など多くの方々が、身近に自然にふれあえる地域として、自然環境の保全に十分配慮した、夢とロマンのある活用を図っていければと考えております。

(3) つくばエクスプレスの土浦駅への延伸の実現に向けましては、茨城県つくばエクスプレス等整備利用促進協議会から常に情報を収集しつつ、協議会を有効活用し、中長期的な視点で、国、県、首都圏新都市鉄道株式会社、関係機関等へ鋭意働きかけを行うべきと考えております。

(4) スマートインターチェンジの設置については、市民の利便性はもとより、地域経済の活性化への起爆剤になり得るものと考えており、まずは接続箇所や整備効果の検証など、設置の可能性について十分精査し、国、県、NEXCO等の関係機関にも、積極的に働きかけてまいります。

(5) 亀城モールについては、歴史と文化のまちである本市の亀城公園を中心とした歴史的なエリアと、土浦駅を結ぶ駅前通りの中間地点へ、遊歩道としての機能に加え、憩いの空間を整備することで、中心市街地の回遊性向上によるにぎわい創出を目的として進めているもので、公園ビルのモジュール化については、まずこの亀城モール整備事業を完成させ、その上で整備効果や事業費など、調査研究をしてみたい。

とともに、企業誘致に積極的に取り組み、財源確保に努めてまいります。

2 (1) 私とともにトップマネジメントの一翼を担い、市の重要施策を決定するとともに、職員の担当する業務を監督し、市長の職務を代理する重要な立場にあると考え、未来の土浦市を私とともにつくり上げていくことのできる、識見豊富で人格高潔な人物を選任してまいります。

(2) 経営責任者として実質的な団体運営に関わる必要があるのか、また、役員を兼務することで、今後も団体への市の施策の反映や円滑な事業運営のため、一定の関与を行っていく必要があるかなどを検証しつつ、それぞれの外郭団体ごとに対応してまいります。

公明党土浦市議団 吉田 千鶴子

(質問内容)

- 1 土浦市の財政について
- (1) 市財政は危機的状況とは何をもって危機的状況なのか。市長ご自身の市財政の認識をお伺いします。
- (2) 財源確保の企業誘致、土浦ブランドのセールの具体策についてお伺いいたします。
- 2 人事構想について
- (1) 副市長人事の考え方を伺いたします。
- (2) 外郭団体の役員等に副市長が兼務されておりましたが、これについては、今後どのように考えるか。
- 3 市民の交通弱者に対する利便性の確保について
- (1) キララちゃんバスの現状認識について
- (2) キララちゃんバスの全市内運行の考え方や、予算規模はどの程度となるのか。財源についてはどの様に考えておられるのか。
- 4 観光振興の「自転車のまちづくり」について
- (1) これからの「自転車のまちづくり」について、どの様に考えておられるかお伺いいたします。

1 (1) 所信表明でも申し上げた、7つの基本方針の1つである「市財政の健全化に全力」に掲げた、新しい財源確保、筋肉質で無駄を省いた財政運営など、歳入の確保と歳出の適正化の両輪をもって、私が先頭に立ち、健全な財政運営を実現させるため、全力を尽くしてまいります。

(2) 本市の恵まれた環境や、インフラ等の優位性を私自身がPRすることで、本市のブランドイメージ向上を図り、地域産業の振興とまちの活性化に努める

政新会 寺内 充

(質問内容)

市政について

12月10日に行われる市長の所信表明における、市政一般について

(政新会への答弁)

○中心市街地活性化への取り組みについて
本市では、これまで駅前へ市庁舎や図書館・市民ギャラリーを核とするアルカス土浦などにより、賑わいづくりに大きく貢献しておりますが、駅周辺につくられつつあるにぎわいを、中心市街地全体に波及させることが重要であり、休日も人がにぎわう恒常的なにぎわいづくりを目指すため、空き店舗の活用促進やまちなかに住む人を増やすための施策など、これから様々な施策を講じてまいります。

○公共交通の見直しの取り組みについて
本市では、まちづくりとの連携を図りながら、各公共交通が相互に補完し合うネットワークを構築するといった考えの下、様々な施策に取り組みしており、まず様々な地区で、コミュニティ交通の運行を進めるにあたり、課題や問題などがたくさんあると思しますので、次年度より調査をしていきたい。

○企業誘致の推進について
地域住民の雇用機会の確保や持続可能な行政運営に欠かせない税収の増加が見込まれることから、本市としても、県の制度を積極的に活用するとともに、立地企業に対して固定資産税、都市計画税相当額を3年間交付する土浦市企業立地促進奨励金交付制度等を活用し、企業誘致に積極的に取り組んでまいります。

○ごみ袋の低料金化への取り組みについて
市民の皆さんの環境問題に対する意識の高まりを受けて、本市のごみは年々減少する傾向にあります。市民の皆様から、県内他市と比べ、本市の有料化袋が高いというご意見を伺い、今後、現在のやり方や価格設定が適正なものか、様々なアイデアを出しながら、いろいろな方のご意見を聞きながら、再度考えてまいります。

○川口二丁目の水辺の空間の取り組みについて
川口二丁目地区は、マリンスポーツ等の環境に恵まれるとともに、ナショナルサイクルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」における中心的な役割を担う地区であるなど、本市にとって大変貴重な地域資源であるものと考えており、より多くの人々が集い、交流する場となるよう積極的に民間活力の導入を進めてまいります。

日本共産党土浦市議団 田子 優奈

(質問内容)

- 1 安藤真理子新市長のこれからの市政運営について
- (1) 市長選挙で掲げた公約のうち、市民の反響が大きかった以下の4つについて伺います。
- ①「有料ゴミ袋を再考します」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。
- ②「市立保育所を守ります」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。
- ③「キララちゃんバスの市内全域運行をします」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。
- ④「新治運動公園に人工芝生を貼ります」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。
- (2) 厚生労働省から突然発表された病院再編統合リストに独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センターが挙げられましたが、これに関連して伺います。
- (3) 100億円近くを投入して用地を買収した常名運動公園計画について伺います。

1 一部未買収のまま20年以上も放置されており、大変な税金の無駄使いとなっています。運動公園計画を断念し、新たな土地利用計画の策定が必要と考えますが、市長の見解と今後の対応についてお聞かせください。

(2) ①「有料ゴミ袋を再考します」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。

②「市立保育所を守ります」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。

③「キララちゃんバスの市内全域運行をします」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。

④「新治運動公園に人工芝生を貼ります」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。

(2) 厚生労働省から突然発表された病院再編統合リストに独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センターが挙げられましたが、これに関連して伺います。

(3) 100億円近くを投入して用地を買収した常名運動公園計画について伺います。

(日本共産党への答弁)

1 ①今後、本市のごみ処理有料化制度のデータや資料を取りまとめ、様々なアイデアを出しながら、制度の実施状況や効果を検証して、ごみ袋の値段を幾らにできるのか、再考に向けた取り組みをこれから考えてまいります。

②後期計画策定時には学識経験者や保護者などの意見を聴きながら、民営化の効果や課題について検証するとともに、ぜひ公立保育所を残したいと考えております。

③様々な地区でコミュニティ交通の運行を進めるにあたり、課題や問題などについて、次年度より調査をしたいと考えており、市全体の公共交通ネットワークについて調査研究を行い、運行の実施に向けて検討を進めてまいります。

④整備手法や維持管理経費について改めて検討するとともに、土浦市サッカー協会などからのご意見も参考としながら、早期に人工芝化を実現できるように全力で取り組んでまいります。

(2) ①地域医療の基幹的な病院としての役割を担っていただけよう期待するとともに、市民の皆様が安心して医療を受けられるよう、引き続き支援をしてまいります。

(3) ①常名運動公園は土浦市運動公園の拠点施設に位置付けており「市民の意向や需要を踏まえ、防災面等にも配慮しながら、整備を進めること」と位置付けていることから、現時点での運動公園からの計画変更は考えておりません。

②「新治運動公園に人工芝生を貼ります」について、実現に向けての抱負をお聞かせください。

(2) 厚生労働省から突然発表された病院再編統合リストに独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センターが挙げられましたが、これに関連して伺います。

(3) 100億円近くを投入して用地を買収した常名運動公園計画について伺います。

一般質問



矢口 勝雄
＜一括質問＞

災害時の対策と対応について

Q 災害時の通信体制について、通信インフラが寸断された場合、本市においては何のような独自の通信体制を用意してあるのかを伺います。

A 【総務部長】 本市の通信体制の確保については、具体的な取り組みは、まず情報収集として、建設部職員や消防本部職員による巡回調査に加え、施設管理者やその他の職員からの報告、そして市民からの通報を基本とし、被害状況等を把握してあります。そして、大規模な災害により交通機能

等が麻痺した場合などには、無人航空機、いわゆるドローンを活用して、車や人が行けない場所の画像の提供をいただくなど、情報収集の協力のため、NPO法人と防災協定を締結しています。通信体制としては、防災拠点となる本庁舎や各消防署に、衛星インターネットなど複数回線を用いた通信網を利用し、県と市町村、防災関係機関等との間を、災害時においても安定した情報交換が可能となる「防災情報ネットワークシステム」が整備され、市と県の円滑な情報伝達体制が確保されています。

また、災害などで電話が混み合う場合でも、発信や接続などの通信制限を受けることのない、災害時優先電話を固定電話で5回線、携帯電話で13回線確保しているほか、停電時や携帯電話が使用できない状況でも通話が可能で、災害時公衆電話を小中学校に138回線、各地区公民館に24回線を整備し

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を一つ取り上げて要旨を掲載しています。今定例会では、「一括質問・一括答弁」方式を選択した議員が6名、「二問一答」方式を選択した議員は3名おりました。

さらに、避難所となる小中学校や地区公民館、警察署、医療機関及び電気、ガス水道などのライフラインに係る公共的団体や、市内の3駅など100カ所にMCA無線を配備してあります。停電などで電話回線が使用不能となった場合でも、この無線により相互通信が可能となるもので、非常時に備えた通信体制を確保してあります。

今後、激甚化する自然災害に備え、あらゆる状況にも対応できるよう、民間企業との協定の締結を推進するとともに、通信体制の確保とさらなる充実に努めてまいります。

その他の質問事項

・オートバイ原付の登録状況とデザインナンバープレート

A 【総務部長】 本市においては、防災行政無線や市のホームページのほか、安心・安全情報メールやエリアメール、ヤフー防災アプリ、NHKデータ放送などを活用し、情報発信することとなります。防災行政無線で聞き取れない場合や、携帯電話やパソコンを持たず、情報を手でできない方もいることから、情報伝達手段の多重化、多様化に努めているところです。スマートフォンなどのモバイル端末の普及に伴い、SNSの利用者も年々増加

大規模災害時の対策について



黒英 一
＜一括質問＞

Q 大規模災害時、作業効率化のため、今後AIやSNSを活用して情報収集や、情報提供の実験・訓練をお考えか、伺います。

そのような中、防災チャットボットの研究が進められており、兵庫県伊丹市の凶上訓練による実証実験が行われ、また防災チャットボットを利用した災害対策訓練が茨城県との連携によ



奥谷 崇
＜一括質問＞

台風19号への対応と今後の自然災害への対策について

Q 避難所における課題について

A 【総務部長】 避難所については、平成25年6月の災害対策基本法の改正により、市町村による避難所の指定制度が明確化され、災害の種別ごとに指定することとなっております。本市では、災害が発生、または発生する恐れのある場合に、その危険性から緊急的・一時的に身をを守る場所として、市内の小中学校や地区公民館、大規模公園などを「指定緊急避難場所」に位置付けてあります。そのうち災害により自宅に戻れなくなった方々などが一定期間、避難生活ができる場所として、市内の小中学校を「指定避難所」に位置付け、非常食や毛布などを備蓄し、安全かつ良好な避難生活の環境確保に取り組んでいます。台風19号の災害対応としては、市民の不安解消等に努めるため、7カ所



柏村 忠志
＜一問一答＞

土浦市学校給食の基本物資(パン、米飯、めん、牛乳)を「原学校給食会」から受けているのはどうしてでしょうか。

Q 学校給食の基本物資は、国の補助金が廃止された以降は、県学校給食会は基本、食材購入先の1つにすぎません。にも関わらず、県学校給食会にこだわっているのはどうしてか伺います。

A 【教育長】 本市の学校給食については、現在、土浦市立第1・第2学校給食センターの2つの施設から市立の小学校16校、中学校7校、義務教育学校1校、幼稚園2園に1日あたり約1万1,200食の給食を供給しています。給食の献立のうち、おかず等の主菜や副菜は、給食センターで調理したものを各学校に配送していますが、ご飯、パン、麺、牛乳については、本市では公益財団法人茨城県学校給食会との契約により供給しています。県学校給食会から学校給食の基本物資の供給を受けている理由については、県学校給食会は、公共性の高い公益財団法人として社会的な信頼を得ており、物資の安定供給や衛生管理が優



久松 猛
＜一問一答＞

耐震強度の不足する民家のブロック塀の改修等に関する国の事業制度の活用について

Q 国の事業制度には地域防災計画等への位置付けが必要となる避難路沿道の範囲や交付金の限度額等、不明確な部分があるので、本市における改修費の補助制度について、引き続き調査研究をしていくということですが、その調査研究の結果、何が明らかになり、そして本市としてはどのような対応をしていくのか伺います。

A 【都市産業部長】 耐震強度の不足する民家のブロック塀の改修等に対しては、平成31年2月に国の交付要綱が改正され、社会資本整備総合交付金の基幹事業として国費を活用できるようになり、これまでも平成30年12月議会、令和元年6月議会において、国費などを活用した補助制度の検討についてご質問をいただきました。その時点では、国の補助制度の対象となる避難路沿道の範囲などが不明であったため、継続して調査研究していきたくとお答えしました。その後、県を含めた県内市町村から成る「ブロック塀等の安全対策に係る補助制度検討会」が開催され、補助制度に関する課題などについて各自自治体で情報を共有する場が設けられ、補助制度の対象となる範囲等が明確になってきたことから、本市においても、国の交付金を活用したブロック塀の改修等に関する補助制度の来年度からの実施に向けて、現在準備を進めているところです。

現在、11月末時点での県内市町村のブロック塀補助制度の創設予定ですが、今年度から実施している水戸市のほか、来年度の創設を予定している自治体が12、令和3年度から予定している自治体が11あります。また、本市の補助制度の具体的な内容については現在精査しているところですが、避難所や学校付近の道路、緊急輸送路沿い等の危険なブロック塀等を対象として行きたいと考えています。

その他の質問事項

・新市長の政治理念について

・小中学校付近の「横断歩道橋」は必要か
・小学校、中学校などの管理職(校長、教頭、教務主任、生徒指導)の男女教員数について

その他の質問事項

・公営住宅管理標準条例案の改正に伴う土浦市営住宅条例の改正について
・国保短期保険証の交付は機械的となつてはいないか



勝田 達也 <一問一答>

子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染を防ぐHPVワクチン接種について、正しい知識の普及に力を入れるべきと考えますが所見を伺います。

Q 市長は、子宮頸がん罹患による女性の健康被害とそれにより失われる可能性のある子どもの誕生について、どう考えますか。また、HPVワクチンの重要性についてどう考えているか伺います。



福田 一夫 <一括質問>

安藤市長の掲げる「チェンジ」について伺います。

Q 新市長の土浦市に対する認識、思いについて、また、市長選では「チェンジ」を掲げられました。その意味は、何をどう変えようというお考えか伺います。

A【市長】 まず、夢のある元気な土浦をつくることです。

A【市長】

子宮頸がんは、全国で年間約1万人が罹患しそれにより約3千人が亡くなるなど、非常に深刻な疾患の一つであります。また、早期に発見できれば命や子宮を守る事ができる疾患ですが、治療による後遺症、例えば妊娠しにくくなるなどの影響もあることから、その予防は極めて重要な課題であると認識しています。

子宮頸がんは、HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染によって罹患しますが、このHPVの感染を予防し、子宮頸がんを罹患することを防ぐ目的で、HPVワクチン接種が始まり、国内では、平成22年度から子宮頸がん等ワクチン接種緊急対策推進事業として、市町村の任意予防接種事業に対し助成を開始し、

本市には、霞ヶ浦を含む水郷筑波国定公園、レンコン、花など、また、魅力あるイベントも数多くあり、昨年には、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が日本で3カ所の内の1つとしてナショナルサイクルルートに指定されました。

今後、私が土浦市のPRの先頭に立ち、情報発信を強力に進め、土浦の地域資源を有効活用し、多くの方に足を運んでいただくような活気あふれる元気なまちづくりに取り組みたいと考えております。

次に、市財政の健全化に全力を尽くすことです。本市の財政状況については厳しい財政状況にあると認識しており、将来を担う

平成25年4月1日からは、予防接種法の一部を改正する法律の施行により定期接種として実施されたところです。

子宮頸がん罹患による女性の健康被害や、それにより失われる可能性のある子どもの誕生につきましては、私も女性の立場でありますので、大変心が痛い問題だと感じております。

これらの予防策として有効とされているHPVワクチンの効果としては、現在も定期接種とされており、また、子宮頸がん予防のためには大変重要なワクチンであること認識していますが、一方で、予防接種した後の重篤な副反応が見られ、健康被害を被った事例もあります。

私は、HPVワクチンが定期接種であることやワクチンの意義、効果、そして接種後に起こり得る症状等のリスクを正しく伝え、接種するか否かの判断をしていただくための情報提供をしていくことは大変重要なことだと考えております。

しかしながら、国の新たな判断が示されるまでは、これまで同様の周知啓発をしまいたい。



子どもたちや孫たちのために、市長としてのリーダーシップを発揮し、様々な取り組みによる財源確保で市の財政健全化を図りたいと考えております。

また、女性の目線から市政全般を見直し、仕事と子育ての両立を目指して、女性が活躍できるまちにしたいと考えております。

さらには、女性も、男性も、高齢者も、若者も、障害のある方々も、市民の誰もが個性と多様性を互いに尊重し、「土浦に生まれてよかった」、「土浦で育つてよかった」、「結婚して土浦に住みたい」、「土浦で子育てがしたい」、「そして、「土浦で人生の最期を迎えたい」と、そのように心から思っ

れるまちに変えていかなければならないと思えます。

私は、これまでの議員としての経験も活かしつつ、企業誘致や土浦ブランドのトップセールスを始め、様々な取り組みにより、持続可能な財政運営を行いながら、全ての市民の皆様へ寄り添った「市民暮らし満足度ナンバーワン」の温かさあふれる土浦市政の実現へ向け、大きな意味での「チェンジ」として全力を尽くす所存です。

【その他の質問事項】

・立地適正化計画について



島岡 宏明 <一括質問>

常磐線の利便性向上に向けた取り組みについて

Q これまでの取り組み、現状、これから取り組むべき課題について伺います。

A【都市産業部長】 常磐線は、本市において通勤・通学者や、来街者等の移動手段を始め、地



今野 貴子 <一括質問>

総合計画のグランドデザインについて

Q 人生100年時代における「土浦市の将来構想」について、グランド

デザインの現状、その達成度についてどのよう

に認識しているのか。また、第4次総合計画、第5次総合計画からの課題がそのまま積み残されているように思われるが、その点についてどのよう

域振興を図る上でも重要な交通機関となっており、本市の交流人口や定住人口の増加を図るためには、この常磐線の利便性向上及び輸送力増強が極めて重要なものと考えております。

これまでの取り組みとして、本市が加盟している茨城県常磐線整備促進期成同盟会や茨城県南常磐線輸送力増強期成同盟会などを通じた要望活動、駅や商業施設での利用促進キャンペーンが実

を結び、平成27年3月の上野東京ライン開業、さらには平成29年10月の朝夕通勤時間帯における品

は、どのようにグランドデザインに反映されるのか伺います。

A【市長】 社会経済情勢が大きく変化する中、本市が住みたい場所として選ばれる都市になるためには、目指すべき都市の将来像を

持ち、それを実現するための施策を計画的に推進する必要があります。本市では将来像に係る計画とい

たしまして、「第8次土浦市総合計画」、「土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」、「土浦市都市計画マスタープラン」を策定し

ているところです。

総合計画については、昭和46年3月に「土浦市総合計画」を策定した後、順次計画を策定して

川駅発着大幅増便へとながり、利便性が向上したところ。現状の常磐線特急列車の土浦駅への停車本数につきましては、平日・休日とも上り23本、下り24本となっており、今後も特急列車の停車本数増加を

始めとした、常磐線の利便性向上及び輸送力増強に関する要望活動を実施してまいります。JR東日本からは、上野東京ラインには常磐線ほか高崎線などの相互直通運転で、乗り入れ本数が限られて

いること、また、増便となると新たな車両建設に多額の費用がかかるなど、

り、現在の「第8次土浦市総合計画」では、「水・みどり・人がきらめく安心のまち 活力のまち 土浦」を将来像とし、それを

位置付けております。

平成28年に実施した「第7次土浦市総合計画」の進捗状況の評価では、計画推進の基本姿勢及び施策展開の目標として掲げた100の指標のうち

45の指標において、概ね良好な進捗が見られた一方で、41の指標の進捗が思わしくないと

いう結果になりました。進捗が思わしくないと結果は、原因を精査するとともに、取り組み内容のさらなる充実・強化を図る

ほか、実績値が計画策定時の現状値を下回るような施策については、社会

特急列車を含めた常磐線の更なる増便については大変難しい状況との回答を受けているところです。

しかしながら、上野東京ライン開業による東京駅・品川駅の乗り入れの効果などにより、土浦駅周辺でマンシオンやホテルの建設が続いているほか、つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートに指定される

など、常磐線の利用促進や輸送力増強に向けた要望活動の絶好の機会と思われることから、街頭キャンペーンの継続や様々な要望活動を行ってまいりたい。

経済情勢の変化により、目標の達成が困難となっていることが想定されるため、指標そのものの見直しを行ってまいります。

また、これまでの総合計画の課題については、策定当時の社会経済情勢を踏まえつつ、総合企画審議会等でご審議いただいたその中の判断であると認識しております。

いずれにしましても、総合計画、都市計画マスタープランの将来像、人口ビジョンの目標の実現を目指し、土浦市が住みたい場所として選ば

れる都市となるため、引き続き各種施策を計画的に推進してまいります。

【その他の質問事項】

・教育への取組みについて

特集 — 令和2年 会派の主張 —

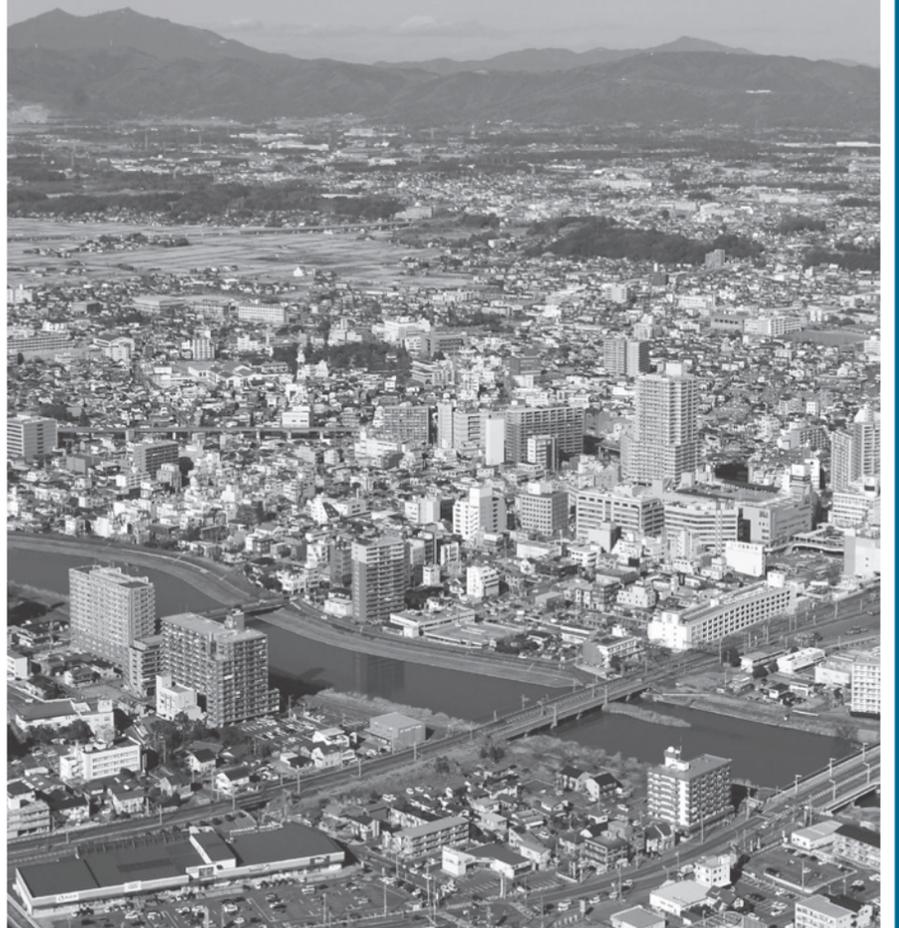
「私たちはこの方針で活動します」

令和2年の各会派の活動方針を紹介いたします。

「会派」とは、議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まった団体のことです。

※内容については、各会派から提出されたものを原文のまま掲載しております。

◎代表者、○経理責任者



郵政クラブ

- ◎内田 卓男⑧ 矢口 清⑤
- 海老原一郎⑤ 篠塚 昌毅④
- 小坂 博④ 下村 壽郎②
- 島岡 宏明② 塚原 圭二②
- 勝田 達也② 矢口 勝雄①
- 奥谷 崇①

郵政クラブは、昨年4月の改選後11名の議員により結成した会派で、議会改革を念頭に実践する保守本流を自負する会派です。令和2年の会派の活動を検討するに当たっては、土浦市の発展と市民の安心安全な生活を図る上で、優先すべき課題、重要な課題を様々な角度から会派内で議論しました。その結果、事業課題を大きく6点に分類し、令和2年の郵政クラブ

の活動計画を策定いたしました。

その1点目、安心・安全対策については、犯罪の抑止力に効果のある防犯カメラを不審者情報のある個所や通学路に増設することを提言、歩道・車道の分離していない全ての市道については、通学路用路側帯の表示をするなど、通学路の危険個所点検整備を提言、更には、老朽化の著しい、各公園の点検・修理修繕を提言してまいります。他の5点については、活動方針に掲載しました。

また、国・茨城県に対して、つくばエクスプレスの土浦延伸や国道6号土浦・牛久バイパス未開通部分の早期開通、霞ヶ浦文化体育館への空調設備の設置等、早期実現に向けた要望活動をする事を提案してまいります。

【主な活動方針】

- 1 安心・安全対策についての政策提言
- ・防犯カメラの増設や通学路危

険個所の点検整備など

- 2 老朽化した地区公民館の改修工事実施計画の立案推進
- ・エレベーターの設置や洋式トイレへの改修など
- 3 都市整備・道路整備・上下水道整備の推進
- ・神立駅西口土地区画整備事業の早期完成、飯田・矢作地区にスマートIC設置、都市計画道路木田余神立線の早期完成を提言
- 4 子ども子育ての環境整備
- ・教育格差を是正する貧困対策の提言や青少年の家の早期改修計画の策定
- 5 公共交通システムについての政策提言
- ・公共交通システムの見直しや乗合タクシーの利用時間の延長など
- 6 魅力ある土浦市の創造についての政策提言
- ・市の窓口ICT化の推進や原付2種デザインナンバープレートの採用

市民ネット21

- ◎◎柏村 忠志⑥

1 最悪を想定した大規模地震・大水害、テロ等に対応する市長部局体制を創設する。責任者は副市長を任命する。

2 宍塚地域の貝塚・古墳・般若寺の文化財を活かした「宍塚貝塚自然公園」(仮称)を樹立する。土地の買収は基本的に「借地方

式」で行う。

- 3 食料・エネルギーの自給体制を拡大する。食料の自給体制は遅々として進まないが、「自然再生エネルギー」と一体的に進める
- 「東海原発」の再稼働を止めさせることへの補償ともなる。
- 4 竹林の「第六次産業化」を図り、仕事をつくる。竹のチップ・粉末所の事業で家畜の飼料、作物の成長・促進及竹炭
- ・竹酢液の活用で医薬・化粧品
- の効用に活用するなど「産業化」を図り、若者などの仕事を創り出す。
- 5 認知症患者の福祉・ケアを支

援し、また、親族関係のケア従

- 6 「県霞ヶ浦浄化センター」の第二次拡張用地は不要となっている。県からこの土地の「譲渡」を要望する。この小高い丘からは眼下に四季折々の野鳥を観察できる場所として検討できる。
- また、近い将来「土浦全国花火競技大会」を開催する場所として検討できる。
- 7 自然環境を活かす「緑の公共事業」を推進し、自主的財源を高める。

会新

- ◎寺内 充⑥
- ◎吉田 博史⑥
- ◎柳澤 明⑤
- ◎柴原伊一郎④
- ◎鈴木 一彦④
- ◎今野 貴子②

私たちが取り囲む環境は、科学技術・医療技術の進歩、益々加速する少子高齢化などにより、今後劇的に変化することが予想されます。政新会6名の議員は、土浦市が新しい社会に対応し、これからは住みたい街であり続けるために何が必要であり、優先すべきかを常に考え、土浦の将来像を見据えた政策に取り組んでいます。

の創生だけではなく、コンパクトシティの観点からも重要です。土浦駅ビルに開業した「りんりんスクエア土浦」や星野リゾートホテルなどをりんりんロードと併せて有効活用し、観光客の増加を図ります。南部地区では、乙戸市場に道の駅を整備し、乙戸沼公園と併せた新たな賑わい・楽しみの場を作ります。

住んでみたい・住み続けたい街の条件の一つとして、子育て支援や介護予防の充実があります。女性が社会的に活躍できる環境を整え、高齢者・市民が安心して暮らせる街づくりが必要となります。私たちは男女共同参画社会の趣旨に則り、今後も様々な施策を研究・推進してまいります。

- 【主な活動方針】
- 1 中央立田線・県道土浦港線と市道1級18号線・荒川沖木田余線の早期4車線化
 - 2 市民要望の生活道路改良工事
 - 3 中心市街地活性化の為に担当課を新設
 - 4 川口二丁目の水辺の開発の推進
 - 5 乙戸市場の観光資源化（未利用床を活用した道の駅）
 - 6 公共交通空白地域対策（コミュニティバスの運行）
 - 7 新治多目的グラウンドの人口芝生化（サッカー場への改修）
 - 8 上記7に伴う常名運動公園計画の見直し
 - 9 小町の里の整備促進（駐車場・道路整備等）
 - 10 米寿祝いの復活
 - 11 小松坂下交差点の更なる安全対策（県への要望）
 - 12 男女共同参画推進
 - 13 街の美化推進

党明

- ◎福田 一夫⑦
- ◎吉田千鶴子⑤
- ◎平石 勝司③
- ◎目黒 英一①

令和の新時代が始まり、本年、土浦市は市政施行80周年の佳節を迎えます。

私たちは、新しい土浦の未来を力強く切り拓いていかななくてはなりません。

現在、本市は、全国の地方都市と同様、急激な人口減少と少子高齢化が進展し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる、医療や介護、妊娠・出産・子育てに至るまで切れ目のないサービスを今後より充実させていかなければなりません。

さらには、定住人口・交流人口の拡大やインバウンド対応もますます重要になります。

昨年11月「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は、国が創設した「ナショナルサイクルルート」に指定されました。本年3月には、土浦駅ビル内に「星野リゾートBBS」が開業されます。サイクリストをはじめとする観光客の来訪も予想され、本市の交流人口等の拡大のチャンスと考えます。

一方、近年想定を超える自然災害が頻発し、「二人の生命を守り抜く」防災・減災への取り組みは、ますます重要な課題となっています。

私たちは、これらの課題へ対応していくためにも、本市の政策展開のすべてに持続可能な開発目標(SDGs)に向けた効果的な施策を迅速に実行することを求め、何より重要である「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して参りたい。そして、寛容な心を持ち多様性を尊重する共生社会の構築をして参ります。

- 【主な活動方針】
- 1 「自転車のみち土浦」を全国にPRし、自転車レース・イベントの開催に取り組むこと。地域資源との連携と開発を図り、インスタ映えする四季の花々などのスポットを整備すること。
 - 2 コミュニティバスの運行は、十分協議を重ね慎重を期していただき、既存の「民間バス路線」や「のりあいタクシー」、民間での取り組みとの整合性を図ること。尚、交通弱者等の交通に関する部門の新設（機構改革を図ること）。
 - 3 市内小中学校体育館（内外）トイレの洋式化を図ること。
 - 4 神立駅へエスカレーターを設置を図ること。
 - 5 「土浦市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」の策定を図ること。
 - 6 霞ヶ浦を生かしたまちづくりに向け、水辺景観を生かした空間づくりや親水性のある公園等、川口二丁目地区の整備を図ること。
 - 7 高齢者ドライバーの運転防止対策として、65歳以上を対象に安全運転サポート車（サポカー）や後付け安全装置「急加速抑制装置」の設置について支援する補助制度に取り組むこと。ほか、8部局67項目の推進を図ってまいります。

日本共産党

- ◎久松 猛⑩
- ◎田子 優奈①

消費税10%への増税による悪影響が、日々の暮らしを苦しめています。複数税率対応への負担が、商店の経営を圧迫しています。国内景気は「後退局面に入っている」とみられる」と。こんな状況だからこそ地方政治に市民の暮らしを守るための最大限の努力が求められているのではないのでしょうか。高すぎるゴミ袋を当面水戸・日立並み（45ℓ30円）に、国保税や介護

消費税率10%への増税による悪影響が、日々の暮らしを苦しめています。複数税率対応への負担が、商店の経営を圧迫しています。国内景気は「後退局面に入っている」とみられる」と。こんな状況だからこそ地方政治に市民の暮らしを守るための最大限の努力が求められているのではないのでしょうか。高すぎるゴミ袋を当面水戸・日立並み（45ℓ30円）に、国保税や介護保険料、水道料金、学校・幼児教育における給食費などの引き下げを求めます。学校給食における地産地消の推進、教育費の拡充、公立保育所の民営化中止などを求め、子育て世代が暮らしやすい土浦を目指します。昨年の日本共産党土浦市議団の取り組みで、民間や個人所有の耐震性のないブロック塀の解体等への補助制度が今年夏前頃に開始予定、また、車いす対応卓球台の神立コミセンへの配置が実現しました。

コミュニティバスの市内全域運行が強く求められている中、実現に向けての調査を4月から開始すると市の市長答弁がありました。市民の声が大いに反映されたバス運行計画となるよう、市に強く働きかけていきます。

- 【主な活動方針】
- 1、常名運動公園建設用地の用途変更を行い、都市公園として整備すること
 - 2、市民生活を圧迫している高すぎる国保税の引き下げを求めます
 - 3、駅前や公園など、路上喫煙防止区域を設定すること
 - 4、コミュニティバスの導入については、市の責任で運行させること
 - 5、高齢者の運転免許証自主返納者に対するサポーター事業を一層充実させること
 - 6、県内一高い家庭ごみの有料化は、当面、水戸・日立並み（45ℓ30円）に改めること
 - 7、市営住宅条例を改正し、保証人の項目を削除し、緊急連絡先とする
 - 8、新中小企業基本法第6条の趣旨に基づき、土浦市中小企業振興条例を制定し、中小企業の振興に積極的に取り組むこと
 - 9、公立保育所の民営化は中止すること
 - 10、学校給食においては、地産地消を推進すること

市議会のしくみ

市議会は市民参加の開かれたまちづくりのため、市民一人ひとりの声を市政に反映させる役割を担っています。

市議会議員と市長は、4年に一度、市民の皆さまの選挙によって選ばれ、市民の代表として市政の運営を任されています。

市長は選挙公約などで打ち出した政策を進めるため、また住み良いまちづくりを進めるために、予算や条例などの案を作り、市議会議員は市民の皆さまの代表として、その案を慎重に審査し、決定しています。

これは市議会の基本的な権限である議決権であり、予算や条例を決定する権限になることから、市長は議会の議決に従って仕事（市政）を進めていきます。

このようなことから、市議会を「議決機関」、市長を「執行機関」と呼び、互いにけん制し協力し合いながら均衡を保ちつつ、同じ目的である市政の発展のために活動しています。

<議会を傍聴しませんか!!>

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付（庁舎4階傍聴席入口）で、住所・氏名等を記入して入場してください。ぜひご来場ください。



令和元年度第1回 土浦市議会報告会意見交換の内容について

令和元年11月20日(水)の第1回土浦市議会報告会には、24名の市民の皆さんに参加していただき、議会からの事業等の報告の後、意見交換を行い、様々な意見が寄せられました。報告内容については、次のとおりです。
さらに、意見交換の中から、行政に対する重要なものとして、昨年12月24日(火)に、議長から、市長に報告しました。

意見交換の内容 (一部抜粋)

○神立駅へのエスカレーター設置の要望について

Q：神立駅が橋上駅化され駅西の区画整理も進行中であるが、土浦駅・荒川沖駅に設置されているエスカレーターがない。高齢化及び足の不自由な方が安心して電車に乗れるようエスカレーターの設置を要望する。

A：皆様の意見を関係者に伝えます。

○防災訓練について

Q：災害は忘れた頃にやって来るということばがある。子ども達に地震等に対する訓練をお願いしたい。

A：防災訓練は各小中学校を単位で行っています。

○通院支援について

Q：高齢者、要介護者が増加している。通院難民を生じさせないためには、どうすればいいのか。

A：本市では、通院等、移動が困難な方へのサービスとして「のりあいタクシー土浦」や「重度障害者福祉タクシー」があります。

○歩道の点字ブロックの設置位置について

Q：自転車も通行可である亀城モール西側に設置されている点字ブロックは車道に寄りすぎているか。(自転車の通行幅が確保されていないのではないか。)

A：現地を確認し回答します。(確認後の回答は下記に記載)

○荒川沖・乙戸地区のサイクリングロードの整備について

Q：荒川沖から乙戸地区は、乙戸沼等、すばらしい所もある。サイクリングロードを整備してはどうか。

A：市町村間の広域連携が重要であるので、近接する阿見町、牛久市、つくば市へ提案していきたい。

○「歩道の点字ブロックの設置位置について」は、常任委員会において調査を行いました。回答については次のとおりです。

A：道路構造令で自転車の占有幅は1.0mを基本とすること、また、道路の移動等円滑化整備ガイドラインでは、点字ブロックの敷設位置は境界から60cmが目安とされており、これに準じ整備を行っております。なお、ご指摘の箇所につきましては、国道と市道の境界部で、市道部には防火水槽が設置されていることから、歩道の拡幅ができず、原状復帰としております。

市長への報告内容

○神立駅へのエスカレーター設置の要望について

神立駅が橋上駅化され駅西の区画整理も進行中であるが、土浦駅・荒川沖駅に設置されているエスカレーターがない。高齢者及び足の不自由な方が安心して電車に乗れるようエスカレーターの設置をお願いしたい。



令和元年12月24日
篠塚議長より安藤市長に報告いたしました

令和元年度第1回議会報告会アンケートの集計結果

参加人数 24名、回収 17名(回収率 71%)

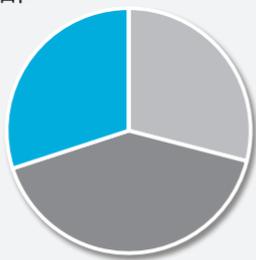
【アンケート集計表(性別～年齢)】

1. 性別



■ 男性 ■ 女性

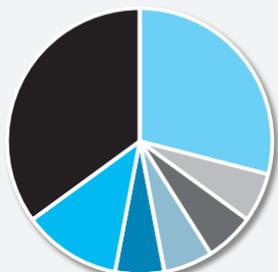
2. 年齢



■ 30～40代 ■ 50～60代 ■ 70代～

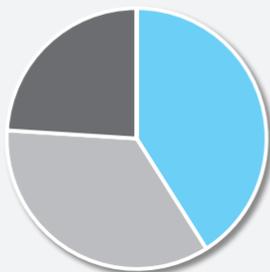
【議会報告会アンケート集計表(お住まいの地区～活動状況の報告について)】

3. お住まいの地区



■ 一中地区 ■ 二中地区 ■ 三中地区
■ 四中地区 ■ 五中地区 ■ 六中地区
■ 都和中地区 ■ 新治地区 ■ 市外

4. 活動状況の報告



■ とてもわかりやすかった ■ わかりやすかった
■ ふつう ■ わかりづらかった

令和2年第1回定例会日程 (※最新情報はホームページにて掲載)

日	曜	開議時間	
2/21	金		招集告示・議会運営委員会
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		代表質問・一般質問通告受付開始
26	水		代表質問・一般質問通告締め切り
27	木		
28	金		請願・陳情受付締め切り
29	土		
3/1	日		
2	月		
3	火	午前10時	本会議(招集日)
4	水		休 会 (議案等の調査)
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月	午前10時	本会議(代表質問・一般質問) 議案質疑通告締め切り(午後1時)
10	火	午前10時	本会議(一般質問)
11	水	午前10時	本会議(一般質問・議案質疑)
12	木		休 会 (予算特別委員会・常任委員会)
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		休 会
18	水		休 会 (予算特別委員会) 討論通告(委員会終了日の翌日まで)
19	木	午後1時30分	本会議(最終日)

広報広聴委員会

- 委員長 平岡 勝明
副委員長 島岡 宏也
委員 矢野 貴也
委員 勝田 達也
委員 吉田 千鶴
委員 海老原 一郎
委員 小坂 博子
委員 今野 貴子
委員 勝野 貴子
委員 勝田 達也
委員 吉田 千鶴
委員 海老原 一郎
委員 小坂 博子

(委員 矢野 貴也)

安藤新市長の所信表明で始まった令和元年度第4回定例会。各会派の代表質問、一般質問などを通して新市長に対し多くの議論が交わされました。
また新年を迎え、令和2年度に向けて各会派より予算要求を市長に提出しております。
私たちは、市民に開かれた議会・わかりやすい議会を目指して、議会改革を続けています。議会報告会などを通じて、市民の皆様からお寄せいただいたご意見をしっかりと受け止め、これからは精一杯取り組んでまいります。

【編集後記】

【市民のみなさまからのご意見募集！】

議会だよりの作成や議会の運営についてなど、ご意見・ご要望を募集いたします。下記までお寄せください。

例：議会だよりを〇〇〇〇して見やすくしてほしい。
議会を夜間や休日に開催してはどうか。など。

〒300-8686 土浦市大和町9番1号
土浦市議会事務局 FAX：029-826-3379

メールの場合は、土浦市議会ホームページの「お問い合わせ」の中の「お問い合わせフォーム」から送信願います。